

DTP CONTENTS WORKFLOW MONTHLY

* Contents *

01. PDF に指定する文書のプロパティと開き方	2
02. 電子書籍コンテンツの書き出しは画像で十分か	9
03. Illustrator CS4、CS3 互換のトリムマークは必要か?	11
04. Illustrator の新バージョンを売りたければパブリックベータにしろ	13
05. 印刷価格の底値を探る「印刷比較 .com」始まる	15
06. Creative Suite 5 はどこに目を向けているのか	16
07. Illustrator CS5 の新機能は何を変革する?	18
08. InDesign CS5 はマルチユースツールに変貌できるか?	20
09. 紙の本が消えることはわかっている、問題は「いつ」と「どのようにして」だ	22
10. Acrobat 8 Pro 8.2 アップデートはクローバーフィールドだった?	24
11. Creative Suite5 をインストールするまでの長い道のり	26
12. 最新ニュースピックアップ 2010.04	28

行動させる影響力がないものは情報ではない

むかし読んだ本で『かけひきの科学 (唐津一著、PHP 新書)』という本を読み返した。そのなかに「福沢諭吉が考えた情報の概念」というトピックがあった。それによると情報とは

**そのことについて情報を手に入れるまでは、
そのことがなかったときと同じ状態にある**

ことをいうそうだ。つまりそれが手に入ったとき、何かが変わるものが情報ということになる。

何かが変わるというのは、知識や認識が変わるというものもあるが、行動が変わる場合もあるだろう。

おいしいケーキの店という情報があっても、それを知るだけで終わる「情報」と、その店に行ってケーキを買いたくなる「情

報」では情報の価値はまったく異なる。情報の価値に違いがあるとすれば、行動させる情報こそが価値が高いといえそうだ。

昨今のマーケティングは、行動させることがすべてである。重要なことは「情報」ではなく、「行動させるもの」である。いくら誰もが知らない知識や発見があっても、それで行動が変わらなければ価値は小さい。極端に言えば行動させる力のないものは情報ではないのでないか。

売り込みに行っても、ブログを書いても、ツイッターでつぶやいても、ビジネスにつなげたかったら、「相手はなにかアクションを起こすのか」ということを意識するべきである。行動させること、それがビジネスの基本なのである。

ちなみにビジネス書にはよく「アフリカで靴を売るビジネスマン」についてのトピックが紹介されているが、元ネタは唐津一著の『販売の科学』に書かれている。



01

PDF に指定する文書のプロパティと開き方

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.15

PDF をモニタ閲覧用にするには、Acrobat のファイルメニューの「プロパティ」で設定する必要があります。モニタ閲覧用に必要な設定は

ページに貼っておきます。そうすれば、キーボードの矢印ボタンで次のページや前のページに移動することができます。

概要

開き方

です。もっとも重要な設定は「開き方」です。ここをページ物の PDF をモニタで閲覧するための必要な設定を解説します。

まず「レイアウトと倍率」を指定します。「表示」では PDF のページのみなのか、サムネイルや添付ファイルのウィンドウを表示させるのかを指定します。モニタで閲覧する場合は基本的に

「しおりパネルとページ」を表示させると、しおり（ブックマーク）をウィンドウに表示させることができるので、任意のページへの移動や簡単になります。しおりは目次のページリンクですので、それぞれのページに移動しやすくなります。InDesign では目次機能を利用するとしおりを自動生成して PDF を書き出すことができます。InDesign の利用にしおりを自動生成できない場合は、Acrobat で 1 つ 1 つしおりを追加していくか、

ページパネルとページ

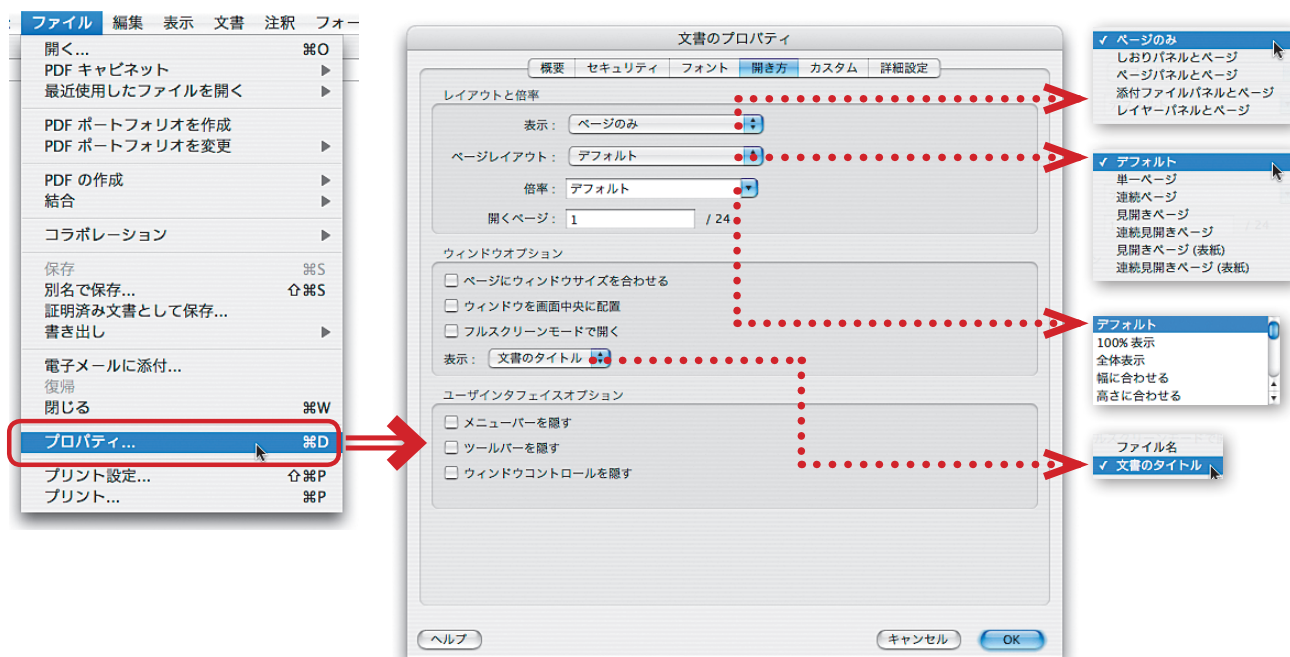
ページのみ

しおりパネルとページ

を指定しましょう。ページ順に読ませたいときは「ページのみ」にし目次ページへのリンクを各

を選択します。「ページパネルとページ」を選択すると、ナビゲーションパネル部分にそれぞれページのサムネイルが表示されます。しおりを追加しない場合は、ページパネルを表示してサム

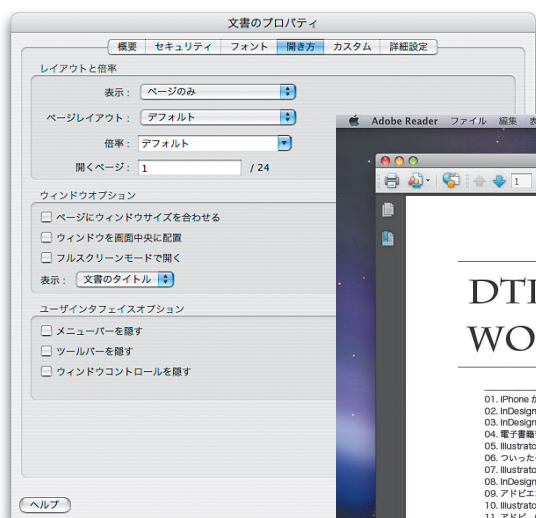
ファイルメニューから「プロパティ」を開いて開き方パネルを表示



ネールでそれぞれのページにアクセスすることもできます。

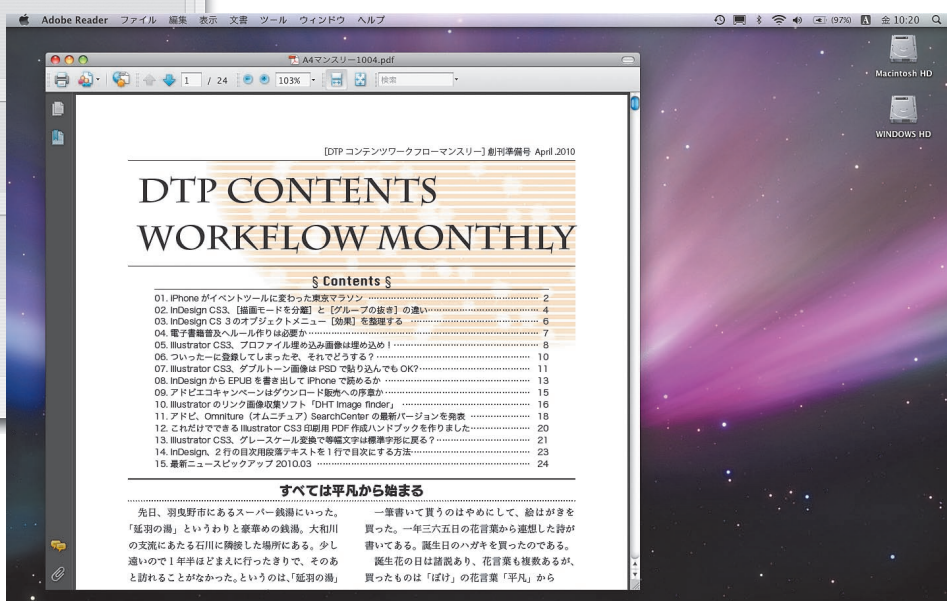
また、閲覧用ではありませんが、PDF に添付ファイルがあるときは「添付ファイルパネルとページ」を指定しておきます。PDF を開いたと

ファイルメニューから【プロパティ】を開いて開き方パネルを表示

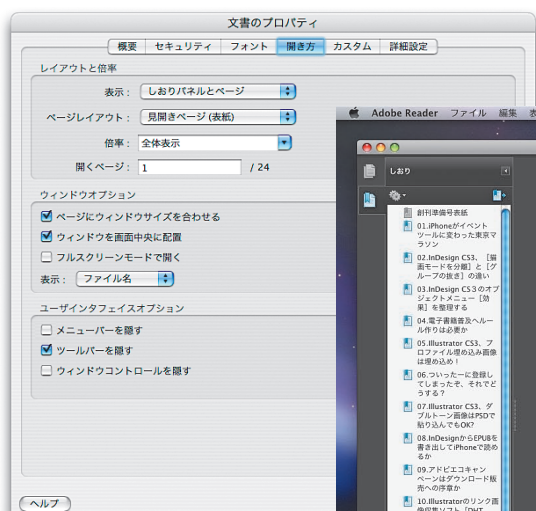


きに添付ファイルパネルが開き、添付ファイルの存在が一瞥できて便利です。

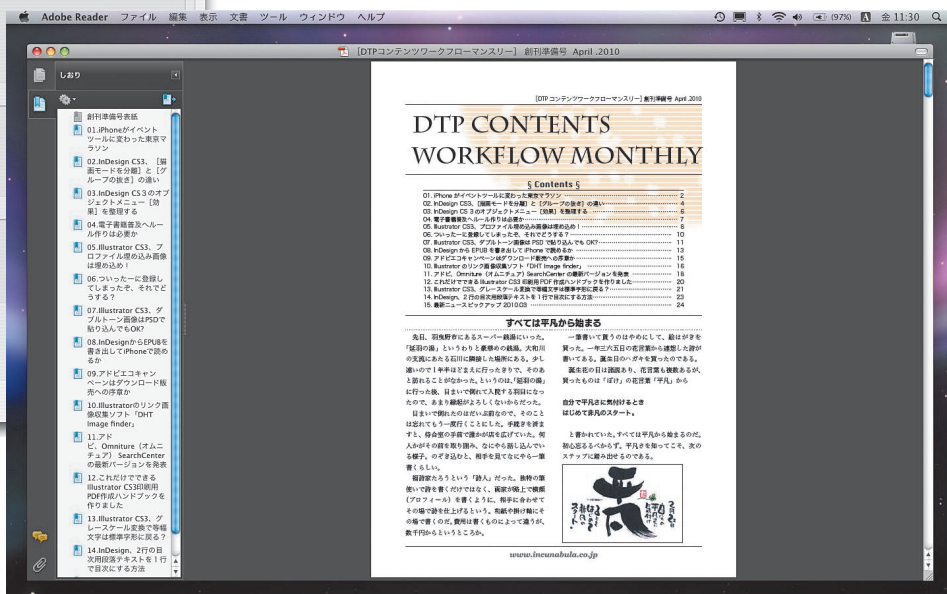
【ページレイアウト】で開いたときのページの表示方法を指定します。ページものでは「見開きページ」もしくは「見開きページ（表紙）」を選



開き方パネルを設定してしおりとページを指定して開く



モニタいっぱいには PDF を拡大して開く設定。最初に表紙ページのみが開き、つぎのウィンドウには見通しで2ページが表示されます。「しおりパネルとページ」を指定しています。



扱します。複数ページに表示ページがあるとき「見開きページ（表紙）」を選択すると、最初に表示されるのは表紙の1ページ目だけになり、「見開きページ」では1ページ目と2ページ目が表示されます。

「倍率」では表示倍率を指定します。倍率を指定する場合と、モニタに合わせて倍率を変更する場合があります。倍率を指定した場合は、その倍率で表示されますが、モニタが小さいとページの一部が表示できなくなります。ページ全体を表示させるのか、それとも倍率を固定するのかを決める必要があります。

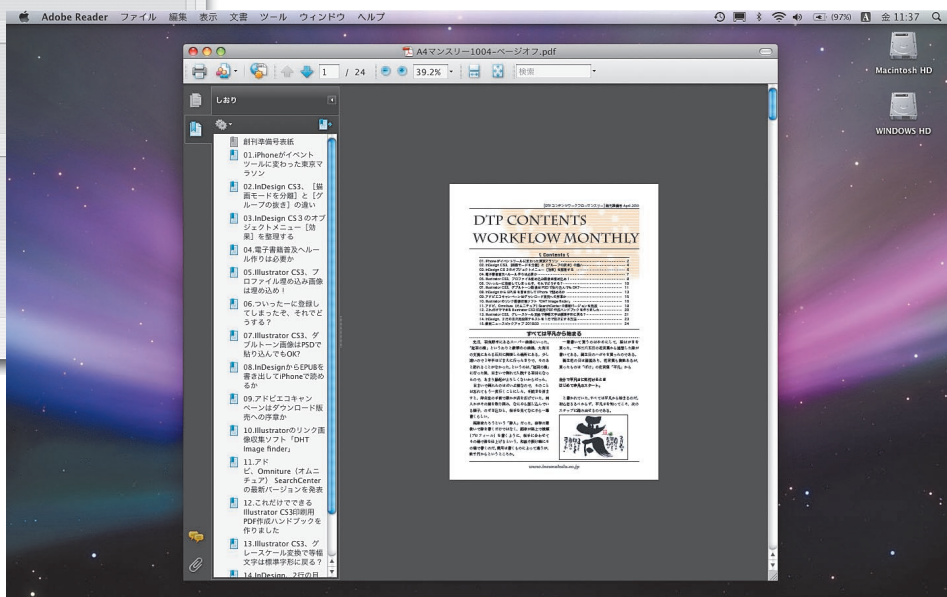
ページ全体を表示させたいときは、「全体表示」「幅に合わせる」「高さに合わせる」「描画領域の幅に合わせる」を選択します。

ウィンドウをモニタにできるだけ大きく表示させたいときは、「ウィンドウオプション」で「ページにウィンドウサイズを合わせる」をチェックし

「ページにウィンドウサイズを合わせる」をオフにする



「ページにウィンドウサイズを合わせる」をオフにしていると、ウィンドウはモニタにあわせて大きく表示されても、ページサイズが任意の大きさになってしまいます。モニタで大きく表示したいときは、ここはチェックしておきます。チェックしたときは、前ページの下のショットのようになります。



ます。ここをチェックすると、ウィンドウをできるだけ大きなサイズで表示します。ここをオフにしていると、「倍率」で倍率を指定していない「全体表示」「幅に合わせる」「高さに合わせる」「描画領域の幅に合わせる」を選択したとき、ウィンドウのサイズは小さくなります。見開きの場合は、「ページにウィンドウサイズを合わせる」をオンにすると、見開きサイズでウィンドウに表示できます。

「ウィンドウを画面中央に配置」をチェックすると、ウィンドウがモニタの中央に配置されます。オフにしていると、任意の位置にウィンドウが表示されます。モニタ閲覧用では、「ページにウィンドウサイズを合わせる」と「ウィンドウを画面中央に配置」の両方をオンにしておきましょう。

「フルスクリーンモードで開く」は表示メニューにある「フルスクリーンモード」で開く指定です。ページが最大で表示されページ以外の部分は黒で塗りつぶされます。

フルスクリーンモードでは、ページを切り替えるときの「ページ効果」を指定できます。アドバンストメニューにある「文書処理—ページ効果」でさまざまな効果を指定できます。ここで「効果」を指定し、「プロパティ—開き方」で「フルスクリーンモードで開く」を指定していると、PDFを開いたときにページ効果を適用して開くことが可能です。ページ効果はフルスクリーンモード以外では指定できません。

なお、残念ながらフルスクリーンモードでは見開き表示できません。「ページレイアウト」で「見開きページ」もしくは「見開きページ（表紙）」を指定していても、無視されて単ページでの指定となります。

「表示」では

「ページにウィンドウサイズを合わせる」をオフにする

The image is a composite of several screenshots from Adobe Reader, illustrating how to disable the 'Fit to Window' option.
 1. The top-left screenshot shows the 'Advanced' (アドバンスト) menu with 'Page Effects' (ページ効果) highlighted.
 2. The middle-left screenshot shows the 'Page Effects' submenu with 'Fit to Window' (ウィンドウサイズに合わせる) highlighted.
 3. The middle-right screenshot shows the 'Page Effects' dialog box with 'Fit to Window' checked.
 4. The bottom-right screenshot shows the 'Page Effects' dialog box with 'Fit to Window' unchecked.
 5. The bottom-left screenshot shows the 'Page Effects' dialog box with 'Fit to Window' checked.
 6. The bottom-right screenshot shows the 'Page Effects' dialog box with 'Fit to Window' unchecked.
 7. The bottom-right screenshot shows the 'Page Effects' dialog box with 'Fit to Window' unchecked.

「ページ効果」を指定すると、ページを切り替えるときに特殊効果を指定できます。15種類の効果が用意されていますが、適用されるのは、フルスクリーンモードの時のみです。それ以外のモニタ表示では残念ながら適用されません。右は「くし形」を適用したときのショット。

文書のタイトル ファイル名

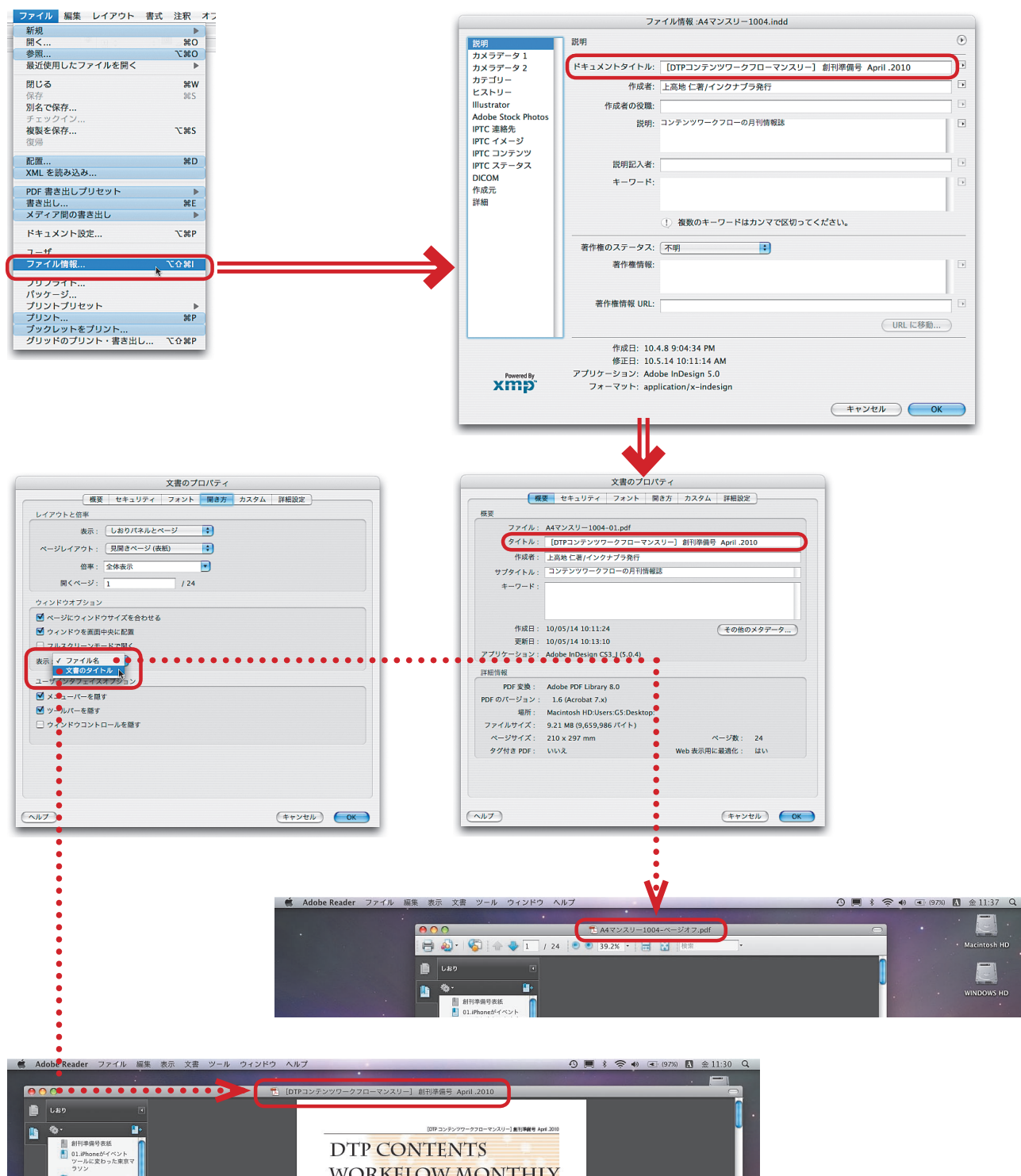
のいずれかを選択できます。ウィンドウのトップバーに表記されるPDFのタイトルをここで指定します。「ファイル名」を指定すると、PDFのファイル名がそのまま指定されます。タイトルをカスタマイズしたいときは、「文書のタイトル」を選択します。「文書のタイトル」は概要パネルに入力している「タイトル」が使用されます。概要パネルで表記したいPDFのタイトルを入力し、開き方パネルの「表示」で「文書のタイトル」を指定するのです。

概要パネルの「タイトル」はそのままテキストを入力することもできますが、アプリケーションで入力しておくこともできます。Illustratorは10.0から、InDesignは2.0から、ファイルメ

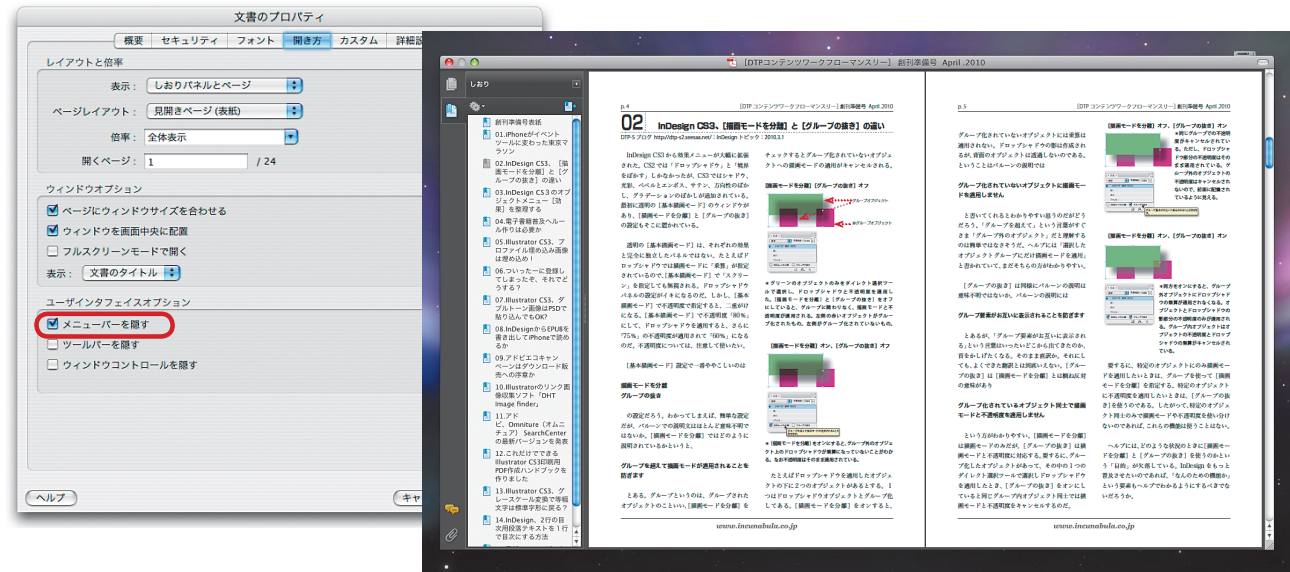
ニューの「ファイル情報」を開いて「タイトル」を指定しておきます。そうすると、PDFを作成したときに自動的に「タイトル」「作成者」「サブタイトル」などがPDFの概要パネルに反映されます。

「ユーザインタフェースオプション」ではメニューバーやツールバーの表示非表示を指定できます。ページを大きくしたいときは隠しておきます。メニューバーを隠すと、OSのメニューが表示されません。なお、Acrobat 8.0以降にはウィンドウコントロールはありません。

InDesignの「ファイル情報」でタイトルを入力してPDFの「表示」に反映させる



[ユーザインタフェイスオプション] でメニューバーを隠す



[ユーザインタフェイスオプション] でメニューバーとツールバーを隠す



Reader にはツールバーはありません。

[ユーザインタフェイスオプション] でウィンドコントロールを隠す



02

iPhone で動画を YouTube にアップする

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.15

iPhone 3GS では撮影した動画をそのまま YouTube にアップできる。今回は iPhone で解説ビデオを撮影し、iPhone から YouTube にアップした。使い方は極めて簡単で、iPhone 3GS が登場してから、YouTube への動画のアップロード数は激増したというのも納得できる。

今回の解説ビデオは、ビデオレターみたいなものだから、iPhone を固定して撮影しなければならなかった。そこでまず、iPhone の固定器具を用意した。iPhone 専用の固定器具というのではなく、携帯電話用の固定器具を使った。もっとも手頃だったのが、GREEN HOUSE

GH-3KA

という携帯三脚であった。小さな三脚がついているがそれは外して、カメラ用の大きな三脚を用意した。iPhone を載せるだけなので三脚も強度は不要。近くの家電ショップでビデオカメラに対応したアルミ製の三脚を買った。



GH-3KA というのは、バネで固定部分がシフトするだけの簡単な構造なので、iPhone をそこにはさむだけ。あとはねじ穴に三脚を取り付けるだけである。面倒なのは、モニタができないとい

うことである。カメラはこちらを向いているので、実際の映り具合を確認できない。一度撮影してみて、位置を合わせていくしかない。

撮影中の画像をパソコンに表示させる方法はないものか。まあ、USTREAM を使うと、ライブ映像を表示させてモニタ可能だが、iPhone の USTREAM は解像度が 320×240 しかないので、すこしつらい。有料の APP だと、モニタ表示するものがあるようだが、無料の APP がでるまで待つとしよう。それまでは鏡でもおいて確認するしかないかも。

最初に撮影してみて感じたのは、音声がいまいちということだった。三脚を離しておくと、音声拾いきれないのである。仕方がない。マイクは反対側を向いているのでカメラ側の声は拾いにくいのである。

しかたがないので、三脚をさらに近づけることにした。それでもやはり声は遠い。かなり大きな声で話さないといけなくなった。それでも語尾を明瞭にしなければ、聞き取りにくかったというのが本当のところである。

次は、iPhone 用のヘッドセットを使って収録するしかないかなあ。

◆グリーンハウス 携帯電話用三脚セット GH-3KA

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/B001F7IRS4/incunabucojp-22>

◆Illustrator CS3、トラブル解決を解説するビデオです [DTP-S ブログ]

<http://dtp-s2.seesaa.net/article/144513096.html>

03

電子書籍コンテンツの書き出しは画像で十分か

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : InDesign トピック : 2010.3.29

iPad の登場とともに、電子書籍への関心が高まっていますが、Kindle は日本語未対応で、EPUB も日本語のコンテンツはまだまだというところ。沸騰する電子書籍への期待で、日本語対応を待たずに、日本語コンテンツをそのまま画像として提供する試みが増えてきています。

Kindle に対して日本語のコンテンツを画像化して提供しようとしているのが「想隆社文庫」です。現在パブリックドメインの小説などを発売しています。Kindle 本体を持たなくても、iPhone には「Kindle for iPhone」というフリーウェアがあるので、Kindle コンテンツは読むことは可能です。

もう 1 つは Kindle に日本語のマンガが登場したことです。「AOZORA Finder Rock (青空ファインダーロック)」というマンガが日本語吹き出しのまま、スキャンされて Kindle コンテンツに変換されています。

こうしてみいていくと、携帯端末用の電子書籍は

画像でいいじゃん

という気がします。日本語に対応したフォーマットである必要があるのか、ということです。携帯端末からプリント出力するのであれば、日本語の対応は必要でしょうが、モニタで読むだけであれば、画像で十分。

そうすると、日本語の DTP も InDesign や QuarkXPress で組んで、画像としてページ書き出しして、EPUB に変更すると簡単な配布用の電子書籍ができそうです。日本語フォントを使うより、すべてモノクロの画像にするのであれば、ファ

イルサイズはそれほど大きくならないでしょう。

InDesign の EPUB 書き出しは、汎用の EPUB フォーマットに対応するためのもの、というより、Digital Editions が読み込める EPUB 書き出しという程度のものです。だいたい日本語フォントは段落スタイルが日本語だとちゃんと認識しないという問題もありますが、それ以上に書き出された EPUB の日本語フォントは

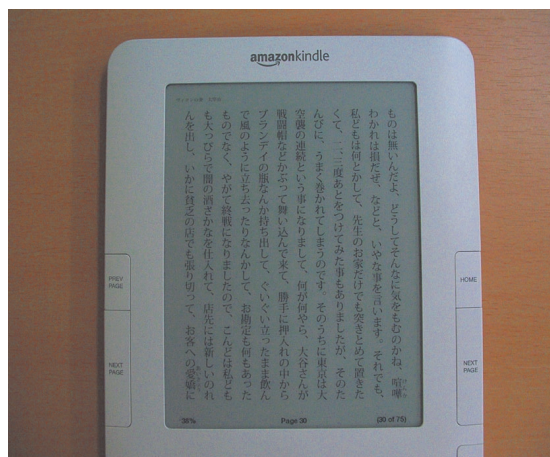
フルセット

で書き出されてしまうという「仕様」になっています。InDesign CS3 でも CS4 でもこれは同じ。3 書体も使うと、書き出した EPUB のファイルサイズは、軽く 10MB は超えてしまいます。通信のフォーマットとしては、日本語フォントは埋め込むのであれば、サブセットにして欲しいものです。

InDesign CS4 で書き出した EPUB は、iPhone の Stanza では読めませんでしたが、EPUB といっても、リーダーによって仕様が異なるようで、アプリケーションから書き出すと相性の違いはあるかもしれません。

いまのところ、InDesign に搭載されている EPUB 書き出しは、Digital Editions で読むためのものであって、それ以外のリーダーで使うことはあまり考慮されていないのではないかと思います。つまり、Digital Editions を普及させるために、Digital Editions を EPUB に対応させ、InDesign から Digital Editions で開くことが可能な EPUB 書き出し機能を追加したというところでしょう。

もし InDesign の浸透を大きくしたいのであれば



ば、より多くの EPUB リーダーに対応するように書き出し機能を強化するべきだと思いますね。InDesign があれば、すべての携帯端末で読める EPUB が書き出せたら、InDesign のユーザー層は広がるに違いありません。

いずれにしても、今のところ InDesign の EPUB 書き出しでは、InDesign でレイアウトした通りには書き出せません。空白行も消失するので、たとえ Stanza で読めたとしてもそのままでは使えそうありません。そういう意味では、携帯端末に合わせてレイアウトして、画像化にして EPUB にするほうが現実的な使い方かもしれません。

いずれにしても、今のところ InDesign の EPUB 書き出しでは、InDesign でレイアウトした通りには書き出せません。空白行も消失するので、たとえ Stanza で読めたとしてもそのままでは使えそうありません。そういう意味では、携帯端末に合わせてレイアウトして、画像化にして

EPUB にするほうが現実的な使い方かもしれません。

◆ Amazon Kindle で日本語のコンテンツが読める！

日本語電子書籍「想隆社文庫」創刊！一般向けおよび図書館向けに提供を開始

<http://www.atpress.ne.jp/view/14142>

◆ Kindle 初の日本語マンガはいかにして誕生したか——電子書籍出版秘話

<http://bizmakoto.jp/bizid/articles/1003/24/news034.html>

04

Illustrator CS4、CS3 互換のトリムマークは必要か？

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : Illustrator トピック : 2010.3.30

Illustrator CS4 はアップデイトが少ない。Macintosh 版では 14.0.1 がリリースされていて、インテル Mac 環境で合成フォントをアウトライン化すると強制終了するというトラブルを解決するためのアップデイトだ。Windows と版ではアップデイトがない。ただし、Macintosh / Windows とともにアップデイトページに「Adobe Illustrator CS4 トリムマークフィルタプラグイン」というプラグインがアップされている。

「Adobe Illustrator CS4 トリムマークフィルタプラグイン」というのは、どうやら、CS3 互換のトリムマークフィルタを CS4 に実装するためのものらしい。昨年の 12 月にアップされていたが、気が付かなかった。

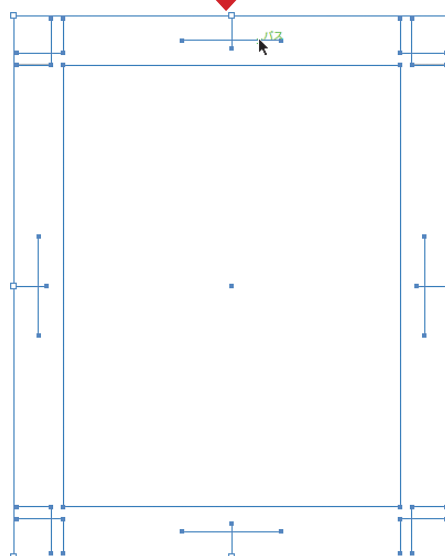
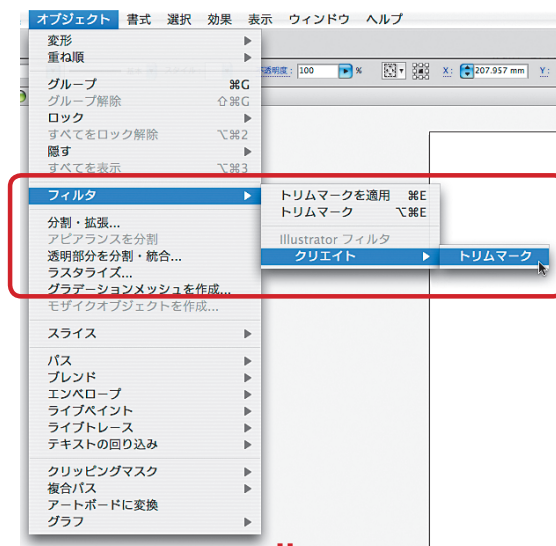
プラグインはアメリカのサイトにあり、そこからダウンロードする。「CropMarks.aip」という名前のプラグインがダウンロードファイルに含まれているので、そのプラグインファイルを、Illustrator プラグインフォルダにコピーすればよい。ただし、すでに同名の「CropMarks.aip」ファイルがあるので、それを上書きせず、「CS4CropMarks.aip」などの別の名前にしてからコピーする。どうやら前のプラグインも必要らしい。

コピーしたら、Illustrator CS4 の環境設定ファイルを削除する。念のため、「Adobe Illustrator CS4 Settings」フォルダを別の場所に移動しておき、Illustrator CS4 を起動する。

このプラグインはいったい何のために提供されたものだろうか。環境設定ファイルを再構築して Illustrator CS 4 を起動すると、トリムマークフィルタが復活するのだ。フィルタメニューは存在し

ないので、オブジェクトメニューに「フィルタ」のサブメニューが追加され、CS3 のフィルタメニューのようにトリムマークが作成できるだ。

CS3 のフィルタメニューの「トリムマーク」と、CS4 の効果メニューの「トリムマーク」はどこが違うのか。フィルタメニューであれば、トリムマークを分割・拡張しなくてもいいということだ。分割・拡張しないトリムマークが欲しいというリクエストがあったのだろう。



しかし CS3 にあって CS4 で失われたトリムマーク関係の機能で喉から手が出るほど欲しいのは、フィルタのトリムマークではない。それは

オブジェクトメニューのトリムエリア（トンボ）

ではないか。確かに Illustrator のトンボは使うことはまずない。トンボを付けるときはフィルタメニューのトリムマークを使うことが多かった。分割・拡張しなければ使えない効果メニューのトリムマークを、薄気味悪く感じているユーザーも多いだろう。しかしそれは慣れれば、効果メニューのトリムマークでも問題なく使えるのではないかと思うのだ。

それよりも、[トリムエリア] こそが復活して欲しい機能ではないか。というのは、たとえば A4 サイズにトリムマークを追加して、トリムマークごと B4 でプリントアウトしたとしよう。その場合、アートボードサイズは B4 にしなければならない。CS 以降ではプリント時にアートボードサイズでプリントするからである。A4 のアートボードサイズにトリムを付けて、B4 サイズでプリントしてもトリムマークはプリントされないのである。

一般的にトリムマークをプリントするとき、まず A4 サイズでアートボードを作成し、オブジェクトメニューでトリムエリア（トンボ）を選択する。そうすると、アートボードサイズのトンボが生成されるので、いったんそれを解除する。それで A4 のアートボードサイズのオブジェクトができあがる。そしてトリムマークを作成して、アートボードサイズを B4 に大きくするのである。この方法のメリットは、B4 に大きくしたアートボードのセンターにトリムマークが位置することである。

B4 サイズの任意の位置に A4 の矩形ボックスを作成しトリムマークを追加したとしよう。その場合、位置がずれていると、トリムマークの一部がアートボードの外に出てしまう可能性が生じる。。トリムマークの一部がカットされると、トリムマークの境界線で割り付けするときに位置がずれてしまうのだ。

いまさら [トリムエリア] でなくてもいいが、アートボードサイズにトリムマークを追加する機能を用意して欲しいものである。それがあれば、CS3 互換のフィルタトリムマークはなくてもいいような気がするのだが、どうだろうか。

◆ Adobe Illustrator CS4 用トリムマークフィルタプラグイン (Macintosh)

<http://kb2.adobe.com/jp/cps/236/236536.html>

◆ Illustrator for Macintosh のダウンロード可能ファイル

<http://www.adobe.com/jp/support/downloads/ilmac.html>

◆ Illustrator for Windows のダウンロード可能ファイル

<http://www.adobe.com/jp/support/downloads/ilwin.html>

05

Illustrator の新バージョンを売りたいければパブリックベータにしろDTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : Illustrator トピック : 2010.4.2

あるとき A 社の I さんが、こういった。「出版社やライター みなさん、お願いします。Illustrator 8.0 から最新版まで対応したというような内容の書籍は是非終わりにしていただいて、新しいバージョンの書籍を発行して下さいね」細かい言葉は違うかもしれないが、そういうニュアンスだったと思う。Illustrator は、複数バージョン対応でなければ書籍が売れないという現実を如実に物語る発言だった。

Illustrator にインストール制限が追加されたのは CS2 以降である。CS2 以降はバックアップ用マシン分も含めて 2 台にインストールできるが、それ以上はインストールできない。試したことはわからないので、3 台目にインストールしたらどうなるのかはしらないけどね。

インストール制限されたためかどうかは知らないが、Illustrator は複数バージョンが乱立する時代になった。InDesign も同じだろう。ユーザーの多くは新しいバージョンの新機能を必要としていないか、使えばコストパフォーマンスは高いかも知れないが、それを知らないのかのいずれかだろう。

新しいバージョンは、ユーザーの意志に関わりなく、Adobe のスケジュールによってバージョンアップしていく。約 1 年半のアップグレードは早すぎると思うのは、私だけではない。

しかし問題はバージョンアップが早すぎるということではないかもしれない。新しいバージョンの告知期間が少なすぎるということではないか。昔のように新機能を隠す必要はない。だって競争相手はいないのだ。Photoshop や Illustrator に競合は存在しない。InDesign には QuarkXPress

というライバルはあるが、しのぎを削っているわけではない。

ユーザーは今のバージョンで満腹しているのだ。どうして新しいバージョンが必要だというのか。新しいバージョンはマーケティング用語で言えば

アドオン

ということだ。つまり、マクドナルドでいう「ポテトはいかがですか」というやつである。アドオンはユーザーのすべてに売れるわけではない。

ところが、困ったことに Adobe は正式なアナウンスとして、いまだにアップグレードしたとき、旧バージョンの使用を認めていない。ユーザーにリスクを背負わせ、新しいバージョンを買って下さいという。売れるわけないではないか。新バージョンはアドオンですらないのである。

ハンバーガーを返していただいたら、ポテトをお売りします

マクドナルドでそんなことを言ったら、いったい誰がハンバーガーを買うというのだ。ポテトも売れなくなる。

いまどき、リスクリバーサルはビジネスの常識である。昔のように飛ぶように DTP アプリが売れる時代は終わったのである。極端な話、新しいバージョンを買ってインストールしたが、半年たっても使わないのであれば、

全額返金します

くらいしなければ駄目である。どうやらサンノゼのマーケティング担当者は、成熟しきったDTPアプリの現状をまったく理解できないくらい視力が劣っているか、頭を使うことがよほど苦手らしい。どの企業でもやっている当たり前のマーケティング手法を使わなくても、IllustratorやPhotoshopは売れると錯覚しているようだ。あるいは新機能を追加すれば売れると勘違いしているらしい。

新しいバージョンを売りたいければ、パブリックベータを大々的にするのがよいかもしれない。パブリックベータはマーケティング用語でいうところの

ステップ販売

である。まず見込客に使わせることが重要だろう。できればパブリックベータは半年くらいかけて行なう。そうすれば、新しいバージョンについてのトラブルはを広く調べることができるし、買いたいと思っているユーザーは買う前に親近感を持つことになる。

もちろん、パブリックベータは面倒だろう。したくないという気持ちはわかる。まあでも、それも今ではダウンロードしてインストールすればいいので難しくないし、コストもかからないのではないか。そういうことをしないのは、サンノゼの営業責任者の怠慢ではないかと思われても仕方がないという気がする。Adobeといえども、売る努力をしなければならないという時代になってきたというのが最近の偽らざる気持ちである。

いずれにしても、アップグレードでの旧バージョンは制限は今すぐにでも止めるべきだ。旧バージョンを使うためには新しいパッケージを別買いという事で、全体の売り上げがアップすると思っている根拠はどこにあるというのか、是非知りたいものである。

また新規のバージョンを買ったときは、オプションでもいいから古いバージョンもインストールできるようにするべきだ。Yahoo!の知恵袋などで、CS4を買ったがCS2にバージョンダウンしたファイルの入稿を要求されるなど、バージョン互換で困っているユーザーの多さをAdobeは肝に銘じるべきである。



Yahoo!知恵袋にあるIllustrator CS4しかなくて、CS2にダウンバージョンしたときのトラブルについての質問。
http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1423558239

06

印刷価格の底値を探る「印刷比較 .com」 始まる

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.4.6

印刷通販が普及すると、各通販の印刷価格をデータベース化し、価格比較サイトが登場するのは自明でした。価格がオープンなので、比較はそれほど難しくありません。複数の条件で絞り込んでもっとも廉価な印刷通販に発注するという方法が「常識」になっていきそうです。あなたは「印刷比較 .com」使いますか？

印刷会社にとって、印刷通販を利用するケースは増えてきました。印刷通販の価格表をセールスツールにすることは可能です。印刷通販ではクライアントのすべての要望を満たすことはできませんから、安い印刷通販の価格表を提供すれば、条件が合えば印刷通販の代行サービスするのも1つの方法でしょう。

いくら印刷通販が安くなっても、すべての印刷物を通販で対応できることはなく、印刷会社のきめの細かい対応が不可欠の印刷物も少なくありません。印刷通販の代行をすれば、「良心的な」印刷会社と見てもらえるでしょう。印刷通販をクライアントの信頼をより強固にしていくためのツールとして使うわけです。

もちろん、印刷通販に発注していることを隠して受注し、利ざやを大きく稼ぐという方法もあるでしょう。納期がタイトでなければ、そういう方法も1つの方法です。印刷通販は自己責任ですから、世の中には印刷通販に依頼したくてもできない人も少なくないからです。

さて、「印刷比較 .com」が使われていくようになると、同じ印刷物でも印刷代の価格が違っていることが明確になります。それでどうなるのかという、

印刷通販価格の低下

印刷通販会社のブランディング

ということが考えられます。販売価格を比較されると、それぞれ底値に合わせるようになります。値段は底値を探る展開になりそうです。

しかし底値を探っていると利益が難しくなります。価格 .com でも最安値の販売店は利益がほとんどでいていません。コストを下げるのも限界がありますから、「印刷比較 .com」は見込み客と新規客の集客に限られそうです。

そうすると重要なのは、リピート発注率ということになります。つまり、顧客ロイヤリティです。他社に乗り換えられないための方策が必要になるでしょう。ブランディングして印刷通販会社のファンを増やしていくという施策がこれからは増えていくことになるような気がします。

安さ以外のメリットをどのように強調し、それをどのように伝えるのかということは、これから印刷通販に大きな課題になりそうです。印刷通販の印刷価格の低下は、「印刷比較 .com」の登場によって、下げカーブは鈍化していきそうです。印刷通販は価格勝負から次のステージに入ったということでしょうな。

◆ラクスル、複数条件で印刷通販会社の料金を絞り込み検索「印刷比較 .com」

http://www.venturenow.jp/news/2010/04/05/2349_008204.html

◆印刷比較 .com

<http://www.insatsu-hikaku.com/>

07

Creative Suite 5 はどこに目を向けているのかDTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : Creative Suite 5 : 2010.4.12

Creative Suite 5 の情報解禁日になった。発売は来月なので、2008 年の 12 月に発売された CS4 から数えると 18 ヶ月での登場になった。18 ヶ月で何が変わったのか。そして、Creative Suite5 はあなたに何をもたらしてくれるのだろうか。

アドビのプレス向けの内覧会で強調されていたことは

メディアの多様化

である。コンテンツを展開するメディアは増えることはあれ、減ることはない。OS やアプリケーションのバージョンが新旧取り混ぜて使われるように、メディアも古いメディアを温存したまま、新しいメディアが登場する。最近では、キンドルや iPad での電子書籍が話題になった。

Photoshop、Illustrator、InDesign のデザインツールのアプリケーションは、対抗馬が不在のまま、ほぼ独占状態になっている。ライバルがいなければユーザーのニーズを吸い上げて激しく競争する必要はない。肝をつぶすような新機能にはお目にかかりそうもないのだ。Illustrator CS 4 にあった「マルチプルアートボード」も FreeHand の機能を移植したという程度の発想らしい。

そうはいつても下位バージョンとの互換性を喪失するようなバージョンにするわけにもいかず、既存バージョンのユーザーが使いやすい機能を追加する「新機能」が主になることは仕方がない。紙媒体用の新機能には限界があり、新しい機能についてはそれ以外の部分を拡張していくことになる。

メディアが多様化するなかで、アドビのデザイン製品ユーザーもさまざまなメディアに対応しなければならなくなっていく（多分）。アプリケーションの進化の方向は、Illustrator や InDesign が多くのメディアに対応できるように機能が強化されていくことになる。Creative Suite のデザイン版には

**Design Standard 版
Design Premium 版**

がある。プレミアム版は Web 用のアプリケーションが同梱されているのが異なるところだ。Adobe によると、Design Premium と Design Standard ユーザーを比較すると、世界的には

Design Premium のシェアは 45%

らしいが、日本では

Design Premium は 15%弱

らしい。アメリカでは過半数のユーザーは Design Standard ではなく、Design Premium を選択するという。つまり、デザイン用のアプリケーションも Web 用のアプリケーションの両方を使っているのだ。世界的には、Web アプリも同梱した Design Premium は成功したが、日本では芳しくないというのが実情なのである。

今後日本で Design Standard 版のユーザーが Premium 版にシフトしていく可能性は高いだろうか。印刷会社が Web サイトの構築も手がけたとしても、一人のオペレータに印刷用データと Web 用のデータの両方をまかせることは少ない。事業の規模が少し大きくなれば、分業化するのが

普通だろう。すべてを覚えなければならないのは、フリーのデザイナーくらいではないか。

また、両方のアプリケーションを手足のように使いこなせるユーザーはそれほど多くない。Illustrator が使えても、InDesign はからっきしというユーザーが大半なのに、そのうえ、Flash も Fireworks も Dreamweaver も身につけるのは簡単ではない。

今回の多様化するメディアに対応するために Adobe が用意したソフトが

Flash Catalyst CS5

である。簡単に言うと、コードを知らなくても、Flash を作成できるソフトだそう。ただし Flash 化できるのは、Illustrator と Photoshop から（ Fireworks も ） で、InDesign は同様の機能を内在しているので対象外。つまり、Flash Catalyst CS5 の機能をマスターすれば、Illustrator のベクターデータや Photoshop の画像をインタラクティブな Flash データとして書き出すことができるのである。ちなみに Flash Catalyst CS5 は Design Premium には同梱されているが、Design Standard 版には含まれていない。

きっとサンノゼは、こう思っているに違いない。Design Standard 版のシェア低いということは、Standard 版ユーザーを Premium 版ユーザーにシフトさせれば、日本での売り上げはアップするに違いないと（アフリカで靴を売るような話か？）。はたしてその思惑は見込通りなのか、そうではないのか。バージョンアップするとしたら、あたなはどちらを選択する？

ちなみに CS5 からは 64 bit 対応となり、インテル Mac オンリーとなった。Mac OS X 10.5.7 以降。PowerPC は過去に置き去りになった。

◆ Adobe Store - Japan
<http://tinyurl.com/2efx7ph>

08

Illustrator CS5 の新機能は何を変革する？

DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : Creative Suite 5 : 2010.4.14

プレス用として配布された資料には、Illustrator の新機能について書かれたものは「Design Premium」の資料だけである。日本でも紙媒体の広告費が激減し、広告費の中で増加しているのはインターネット関連だけなので、Adobe の社内でも Illustrator の価値は減じているといえそうだ。

Design Premium の資料によると、Design Premium のターゲットは

デザイナー**出版社／新聞社／印刷会社**

となっている。「出版社／新聞社／印刷会社」の項目では「クロスメディアの取り組みが必要な部署」と追記されている。つまり、Creative Suite 5 を導入するユーザーのターゲット層は、主に Web との連携を必要とするユーザーということだ。

どうやら本社の方針は、Illustrator 単体ユーザーを新しいバージョンにシフトさせることより、Design Premium 版を導入するユーザーを増やしたいということだろう。確かに紙媒体のマーケットは縮小しているので、そこに照準を合わせても得るものが少ないのは確か。

「出版社／新聞社／印刷会社」は先導して新しいバージョンを使うことは少ない。周囲の状況に合わせるのが基本的なスタンスである。新バージョンを導入しやすいデザイナーにまず売り込むのは理にかなっている。もっともその後、出版社／新聞社／印刷会社にどのようにしてマーケットを広げていくのか。それが次の課題になりそうである。

さて、Illustrator CS5 の新機能だが、どのようなものがあるだろうか。搭載された新機能は描画に関するものが多く、Web との連携では「ピクセルグリッドに統合」するのが目新しい機能。強力に連携するには、Design Premium にして Flash Catalyst CS5 を使うしかなさそうだ。主な新機能を並べてみよう。

遠近グリッド

遠近グリッドをガイドとして作成して立体的なオブジェクトを作成をアシストする。Photoshop にあるバニシングポイントの Illustrator 版という語弊がありそうか。ガイドのグリッド面に合わせて、オブジェクトが自動的に変形されて立体の遠近感が保持される。

線幅を一定しない線の設定

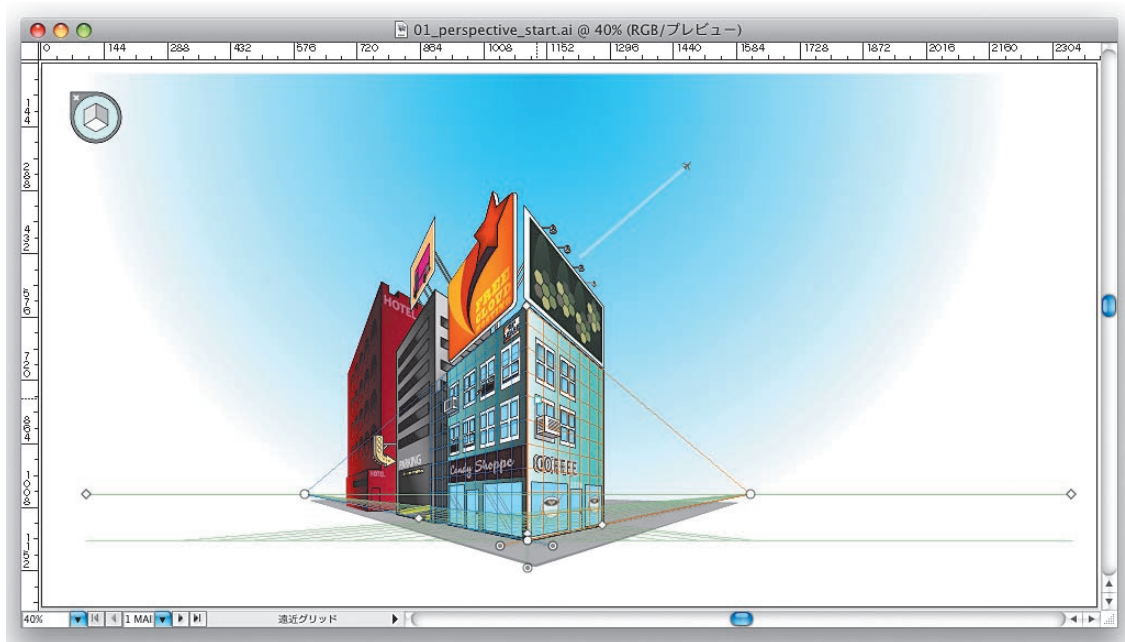
線幅の一部を太くすることが可能。線幅に効果を適用して変形した情報を持たせたもの。まゆげツールともいわれる。線幅を変形した情報をプロファイルとして保持できる。また、線パネルで線に 39 種類の矢印を指定できる。

ブラシツール

絵筆ブラシ風のウィット感のある表現が可能なツール。

ピクセルグリッドに統合

CS4 まではピクセルプレビューできても、Web 用書き出したときオブジェクトにアンチエイリアスが適用されるかどうかわからなかった。この機能を使うとオブジェクトを強制的にピクセルグリッドに合わせて整列し、アンチエイリアスが適用されないようにできる。



Illustrator CS5の遠近グリッドで作成したサンプルイメージ。

シェイプ変形ツール

選択した部分のみを指定してパスファインダーできる。2つのオブジェクトが重なっているとき、重なった部分を抜きにすることが容易になった。パスファインダー機能を強化する。

るのは便利そうだ。

◆ Adobe Store - Japan
<http://tinyurl.com/2efx7ph>

アートボードツールの強化

アートボードを再配置。また、選択したオブジェクトをすべてのアートボードの同じ位置にペーストできる。つまり、Illustratorをページレイアウトソフト的に使いたいときには、ノンブルや柱となるオブジェクトを一括してコピーすることも可能。

背面オブジェクトへの描画

option キーを押しながら選択すると、背面にあるオブジェクトを選択できる機能。選択した階層に描画することもできる。

それ以外に「グラデーションメッシュへの透明効果」や「解像度非依存のフィルタ効果」などの新機能がある。目玉の新機能は「遠近グリッド」だろう。立体オブジェクトの作成が直感的に行え

09

InDesign CS5 はマルチユースツールに変貌できるか？DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : Creative Suite 5 : 2010.4.19

InDesign CS5 の新しい機能のなかで、最初の特筆すべき機能は Flash コンテンツの書き出しだろう。InDesign 上のオブジェクトをアニメーションで動かすことができる。複数ページでコンテンツを作成して Flash として書き出すだけで、コード不要の Flash コンテンツの作成が可能だ。

もともと InDesign は初期の頃から動画の取り込みは可能だったし、ボタンやページの移動などの機能、ページめくり効果を追加して Flash を書き出すことが CS4 ではできた。ただし、基本的には CS4 でも Flash 形式で書き出しても、インタラクティブなコンテンツに編集するには、Flash CS4 Pro が必要となった。CS5 では Flash Pro がなくてもインタラクティブコンテンツが作成できるのである。Illustrator と Photoshop は Flash Catalyst が必要だが、InDesign は Flash Catalyst 不要。単独で作成できるのが InDesign CS5 の強みである。

InDesign のメインユーザーと想定される出版社や印刷会社も、多様なメディアへの対応を求められており、印刷以外のフォーマットにコンテンツを書き出すことが必要になっている。InDesign はこれからますます多様なメディアへの対応を深めていきそうである。

InDesign には XML の書き出しの機能があったが、実際には一般ユーザーの敷居は高く、高価なプラグインを使わなければ実用性は乏しかった。そういう意味では、今回のコード不要の Flash 書き出しは画期的かも知れない。エメリッヒの『2012』でチャーリーが作成した Flash コンテンツ程度であれば、InDesign だけで簡単に作成できそうだ。この方法はムーブメントになれば、幅広く普及する可能性を秘めているのではないか。

もう 1 つのマルチユース書き出しは、[Digital Editions 用]に書き出しの強化である。EPUB の対応バージョンが 3.0 にアップ (CS4 は 2.2) した。といっても縦組みやルビには EPUB 自体が未対応なので不可。また、CS4 までは日本語フォントはフルセットで書き出されてしまったが、CS4 ではサブセットで書き出すことができるようになった。できれば、iPhone、iPod 用の Digital Editions の APP をリリースして欲しいものだ。InDesign で作成した EPUB が iPhone、iPod でそのまま閲覧できれば話題をさらうことは間違いない。

さて、それ以外の InDesign CS5 の新機能を見ていこう。

異なるページサイズ

InDesign のページサイズは、固定されていた。A4 でドキュメントを作成するとすべて A4 のサイズになってしまう。そこで CS5 では見開きに異なるページサイズを複数指定できるようになった。簡単に言うと、三つ折りや観音折りも作成できる。背の幅だけのページサイズが指定できるので、書籍のカバーも可能だ。書籍カバーデザイナーも InDesign だけでレイアウト可能になった。

直感的なオブジェクト選択

コマンドキーで背面オブジェクトを選択してドラッグして移動できる。CS4 では選択できても移動できなかった。またロックされたオブジェクトにはロックアイコンを表示し、環境設定で選択できないようにすることも可能になっている。

サブレイヤーを表示するレイヤーパネル

Illustrator と同じようにサブレイヤーを表示す

る。選択したいオブジェクトのみをレイヤーで表示非表示が選択できる。

段抜き・段分割

段抜きの組版を変更したとき、自動的に見出し位置を変更する機能が追加された。また、1つのテキストフレームを二段に分割してテキストを配置する機能もある。たとえば箇条書きのテキストを、一段のテキストフレームを分割してフレーム内で二段にして表示する。また、楕円内のテキストフレームのテキスト位置を調整する機能も追加されている。

画像の間隔ツール

複数の画像をレイアウトを一括してサイズ変更するとき、画像マスクの間隔を保持して画像ボックスのサイズを調整することができる。また、画像の角を掴むと回転することもできる。

ライブキャプション

キャプションを画像のメタデータから取り込んで表示する機能。Bridge で追加したキャプションを表示するので、1つの画像をマルチユースし、キャプションを統一したいときは、この機能を使うと便利。メタデータのキャプションを変更すれば一括してキャプションを変更できる。

それ以外に「テキスト変更履歴をトラック」したり、パッケージ書き出しでは、Adobe 製日本語フォントも収集する機能が追加された。Adobe フォントを使っていれば、バージョンの異なる同名フォントがあっても、パッケージで書き出すと PC 内のフォントをオフにし、書き出したフォントを使用することができる。

機能的には異なるページサイズやサブレイヤーなど、Illustrator の機能を取り込んだ新機能と、InDesign 独自の新機能、Flash や Digital



Editions 書き出しなどのように、新しいメディアに対応したものに分けられる。Illustrator や Photoshop に比較すると、強力な新機能が搭載されているのが InDesign CS5 ではないか。

InDesign で Flash を作成したい潜在ニーズをどこまで引き出せるのかが、今回のバージョンの興味深いところだろう。Web Premium のユーザーが Design Premium に移行するというようなことも起こるかも知れない。Flash コンテンツのベースは InDesign で作成し、作り込みは Flash Pro であるというような使い方もあるかもしれない（なお、InDesign CS5 の Flash データが Flash CS5 Pro でそのまま開いて編集可能かどうかは未確認です）。

◆ Adobe Store - Japan

<http://tinyurl.com/2efx7ph>

10

紙の本が消えることはわかっている、問題は「いつ」と「どのようにして」だDTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.4.20

『G2』という雑誌に書評のブロガーである小飼弾氏のインタビューが掲載されている。出版社からの献本が毎月 300 冊もあるのはうれしい反面、迷惑な部分もある。貰った本の大半は紹介できないだろうしね。彼は「紙の本は 90 パーセント消えます」と断言したという。

しかし紙の本がいずれはほとんどなくなるというのは、誰の目にとっても「自明」のことであり、

それがどうした

というのが本音である。そりゃ、いつかは 90% くらいになるだろう。全く驚くようなタイトルではない。

このインタビューの趣旨は、紙の本がなくなつて電子書籍が普及すれば、読書率はアップするのではないかということであろう。電子書籍は本棚という物理的制限を解放し、本の価格を劇的に押し下げる。価格が手ごろになって、書店に出向いたりネットで注文する必要がなくなれば、

もっと本は読まれるようになる

という説はもっともらしいが、全く根拠はないのではないか。本を読む人はますます読むようになっていくというが、Web サイトのページを読むのと書籍で読むのとではまったく意図が異なる。

書籍を買うといっても、読むだけのためとは限らない。書籍はコレクターもいるし、本棚に並べることに快感を感じる人もいる。本棚の制約があるといっても、もう読み返さないという本は、売るなり捨てるなりすればよい。一度読んで読み返

さないという本は電子書籍で十分だが、読んでみないと精読したい本かどうかはわからない。出版して売れる本数は確実に減っていくには違いないが、キンドルや iPad の普及で急激に低下するとは限らない。

もちろんそうはいっても、本を買うというライフスタイルが身に付いた人たちがもっと少なくなれば、音楽 CD のようにベストセラーしか売れないということになるだろう。そうなったとき、出版物の販売点数はさらに急降下すると思うが、それが何時なのかは誰にもわからない。しかし、誰もが知りたいのは、「いつ」さらに急降下して、どのメディアにシフトにするのかということだろう。そして「どのような」経緯でそこに至るのか、ということだ。少なくともここ数年ではないような気がする。十年先はわからないけどね。

また電子書籍になり価格が大きく下がったとしても、購入数が増えるとは限らない。いまは電子書籍が注目されているので、販売数は増えているだろうが、長期的に見れば、既存の書籍からシフトしただけの電子書籍の販売数は伸び悩むことは確かである。

「製作コストが下がれば、もっとたくさん出版できる」と書かれている。しかし、いまでは出版の制作コストは大きく下がっている。自費出版もそれほど費用はかからない。自費出版の点数は増えているはずだ。しかし自費出版しても（出版社が発行しても）売れないものは売れない。さらに印刷・製本・流通コストをかけずに出版点数を増やせたとしても、出版業界の産業規模が大きくなることはない。出版点数が増えれば売り上げも大きくなるというのは、根拠のない幻想に過ぎない。

また電子書籍になって安くなれば、販売数が多くなるというのも疑問だ。雑誌社や新聞社の有料サイトで大成功したという話は聞いたことがないから、情報を大多数に有償で提供して、薄利で儲けるというビジネスモデルは成り立ちそうもなさそう。漫画や小説のようなものであれば、安ければ売れるかというと、安くなってもその価格に慣れれば、やはり売れなくなっていくに違いない。

要するに売れるかどうかは「中身」次第であって、出版社や著作者の発行したいものとは関係ない。売るとするのはビジネスであって、重要なのは売れる中身かどうかであり、中身（コンテンツ）に合わせてメディアを抱きあわせていくしかない。「1Q84」を電子書籍にしたら、十倍二十倍売れるのかというとそんなことはないでしょ。いまは印刷した方が出版社も著者も儲かるからね。

もし電子書籍が売れるとしたら、従来の書籍の形態から逸脱したものになるのではないかな。インタビューの最後に「本が電子化していくなかでも、試行錯誤して形にしていけばよい」と書かれているが、試行錯誤した結果に生まれるものは、きっと書籍とは呼べないものになるような気がする。

◆蔵書 2万5000冊の男が断言小飼弾「紙の本は90パーセント消えます」

<http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20100419-00000302-gtwo-ind>

11

Acrobat 8 Pro 8.2 アップデートはクローバーフィールドだった？DTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/>：ニュース&トピック：2010.4.27

Acrobat/Acrobat Reader 8.2 はセキュリティの脆弱性を修正するために、2010 年の 1 月 12 日にリリースされた。Windows/Macintosh 版はフルインストーラではなく、8.1.7 からの増分アップデートになる。ところが、この 8.2、アップデートすると Illustrator と InDesign で起動できなくなるという破壊者だったのだ。

アドビの岩本さんのブログを読むと

**多大なるご迷惑をおかけしておりました、
Mac 版 Acrobat8 のアップデートですが、
現在公開されている 8.2.2 では
Illustrator & InDesign (CS,CS2) を
破壊しません。**

と書かれている。Macintosh 版の Acrobat 8.2 は Illustrator と InDesign の旧バージョンを「破壊」と書かれているので、ギョッとするが、実際には起動できなくなる。Illustrator CS/CS2 と InDesign CS/CS2 だけでなく、InDesign 2.0 も起動不可になるようだ。

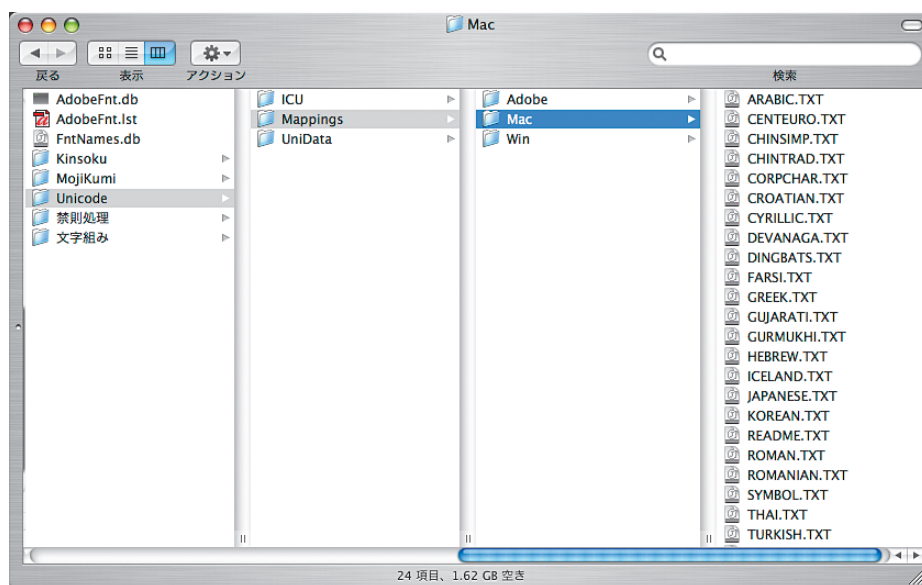
原因にはについては詳しく書かれていないが、アプリケーションサポート内のファイルを書き換えてしまうらしい。書き換えが必要なファイルは

**Macintosh HD/ ライブラリ /
Application Support/Adobe/
TypeSpt/Unicode/Mappings/**

というフォルダ内のファイル。これを元に戻せば解決するらしい。

解決方法は 8.2.2 のアップデートを適用することだ。それでうまくいかない場合は、Mappings フォルダ内の「Mac フォルダ」を TechNote からダウンロードして手動で入れ替えることで対処する。それでも駄目な場合は、「Mac フォルダ」のアクセス権をすべてのユーザーで読み込みのみに変更する。

Illustrator CS4 のときも、Illustrator 10 以前のドキュメントが参照していると思われるファイルを削除してしまい、10 以前のファイルを CS3 で開くと文字化けするという問題があった。今



回もどうやら、8.2 にアップデートすることで、Illustrator と InDesign が起動するときに読み込むフォント関係のファイルを書き換えるか削除するようだ。必要なファイルが読み込めないため、Illustrator CS/CS2 と InDesign 2.0/CS/CS2 は起動できないらしい。

今回のファイルの書き換えも Illustrator CS4 の「8.0」フォルダの書き換えも、いずれも、アプリケーションサポート内の「Adobe フォルダ」内で発生している。アプリケーションの数が増え、バージョンが多岐にわたると、すべてのアプリケーションとバージョンがそれぞれアクセスするファイルを厳しく管理する必要性が生まれる。3 度目がないことを祈るしかない。

なお、現在 8.2.2 まで統合アップデートはリリースされてない。最新版にするには、Acrobat 8 Pro は 8.1.7 までアップデートしたあと、8.2 にアップデートし、すぐに 8.2.2 にする。日本のアドビの「Acrobat for Macintosh のダウンロード可能ファイル」のページには現在 8.2.2 はリストされていない。8.2.2 は 4 月 13 日にリリースされ、アメリカの「Acrobat for Macintosh」からダウンロード可能だ。

PS. 現在、Acrobat 8 Pro の 8.1.7 からアプリケーションでアップデートすると自動的に 8.2.2 にアップデート可能です。

◆ Acrobat for Macintosh [Adobe Downloads]

<http://www.adobe.com/support/downloads/product.jsp?product=1&platform=Macintosh>

◆ Acrobat8 のアップデートを充ててください [いわもとぶろぐ]

<http://blogs.adobe.com/iwamoto/2010/04/acrobat8.html>

◆ Adobe Reader/Acrobat 8.2 または 8.2.1 アップデータを適用すると InDesignCS/CS2、Illustrator CS/CS2 が起動しない

(MacOS X) [Adobe TechNote]

http://kb2.adobe.com/jp/cps/825/cpsid_82579.html

12

Creative Suite5 をインストールするまでの長い道のりDTP-S ブログ <http://dtp-s2.seesaa.net/> : ニュース&トピック : 2010.3.15

プレス用の Creative Suite5 をやっとインストールした。もちろんだいぶ前からインストール可能だったが、いろいろと事情があってインストールできなかったのだ。インストールできないネックがたくさんあり、後回しになったしまったのである。

Creative Suite5 の動作環境についてももう一度確認しておきたい。

**Macintosh は 10.5.7 以降で
インテルマルチプロセッサ
Windows は XP SP2 以降で
Pen4、Athlon64 以上**

となっている。つまり Macintosh 環境ではインテル Mac が必要なのである。

実は手元にインテル Mac がなかった。現在のメインマシンはいまだに PowerPC の G5 のまま。最近はメモリ不足を感じる時があるが、CS3 までを使うのであればそれほど力不足は感じない。ただし、Illustrator CS4 はともかく、InDesign CS4 は動作がたまにいくらかのろい。メモリを増やせば解決するのかしないのか、InDesign CS4 に移行する気にならないのはただそれだけの理由。

インテル Mac は Creative Suite4 のときに調達してきた。ただし動作の確認は G4 でも可能なので、インテル Mac には BootCamp に XP を入れて、そこに Acrobat 9 Pro Extended をインストールした。ただしそのインテル Mac は、その後息子が使っていた。大学生になったので PC が必要になる思い手渡したのである。そのため手元になかった。インテル Mac は PC ではなく、単

なる iTunes マシンと化していた。

そこで、新しくインテル Mac を調達してきた。iTunes マシンのインテル Mac と入れ替えた。というのは、古い方には BootCamp に XP がインストールしてあるので、取り替えることにした。手元に XP がもう一台欲しかったこと、iTunes マシンのハードディスクが mp3 でいっぱいになっていたのである。

インテル Mac の調達ともう 1 つの事情は、プレス用のマシンが専用で必要だということだった。Creative Suite4 のとき、メインで使っているマシンにインストールしたら、あとで製品版に差し替えるときにひどい目にあった。プレス版をインストールしているにもかかわらず、製品版がインストールできないという問題であった。最終的にインストーラを何度も差し替えて解決したが、製品版をインストールできない可能性があるのは辛い。

今回はプレス用の内覧会でも、プレス用の CS4 専用のマシンにインストールしてくれという案内があったと記憶している。プレス用の使用期限が切れたら、Mac OS X を再インストールすればよい。

もともと古いインテル Mac はハードディスクが 60GB しかない。それを BootCamp で割っているので、それぞれのハードディスクの空き容量はあまりなかった。これも Creative Suite5 をインストールする障害になった。

今回の Creative Suite5 のインストーラはダウンロードだった。CS4 までは DVD が用意されていたが、CS5 では DVD のインストーラはなく

なった。おかげで記念品が1つ減ってしまった。DVDだとインストールするアプリケーション用のディスク領域があればいいが、ダウンロードだとすべての製品のインストーラのイメージファイルをダウンロードしなければならなかった。これが

リケーションアイコンは立体になった。

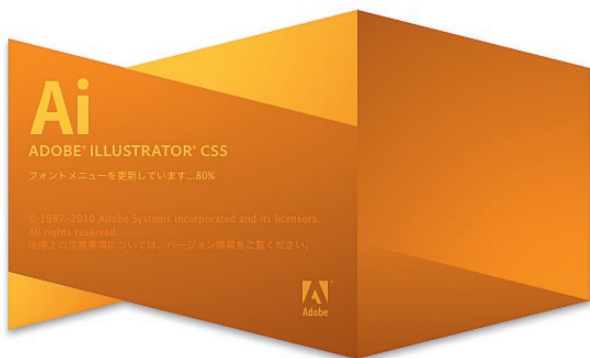
◆ Adobe Store - Japan

<http://tinyurl.com/2efx7ph>

10GB

を越えているのである。ところが、インテル Mac の Macintosh ハードディスクの空き領域は 11GB 弱しかなかった。つまり、インストーラのイメージファイルをダウンロードしたらそれで終わりなのである。これではインストールできないのではないか。Windows のハードディスク領域は 20GB 以上あいていたので、そこをインストール先に指定したが、拒否されてしまった。ファイルシステムを確認してからインストールするらしい。

そこで取りあえずイメージファイルをダウンロードし、別のハードディスクを FireWire で接続してそこにコピーした。ファイルを解凍してやっとインストールできた。Design と Web 関係のソフトをインストールしただけだが、空き領域は 3.8GB しか残らなかった。



というわけで、これが Illustrator のオープニングウインドウ。ちなみに Creative Suite 5 のアプ

最新ニュースピックアップ 2010.04

もともと印刷業は不況業種なので、株価も底値で低迷していましたが、共立印刷が連結営業利益を大幅に増額修正。印刷会社の予想外の業績アップにマーケットが鋭く反応しストップ高になったようです。5月7日の決算でも増額どおりであれば、景気は上向きなのかも。もっとも理由は「物流費の削減や製造人員の効率化」なので、リストラの影響もけっこうある？

◆共立印刷が人気沸騰し新値追い、出来高は100倍に急増 [サーチナニュース]

http://news.searchina.net/jp/disp.cgi?y=2010&d=0420&f=business_0420_110.shtml

印刷会社（合同会社大和印刷）のするパーソナルユース向けのPDF変換サービスがBOOKSCAN。企業内のドキュメントをPDFに変換するサービスは一時はやりましたが、今度は個人向け。「スキャン料金が100円/1冊」で、メールで納品されますが、CD-R/DVDでも受け取れます。個人の所有する書籍をPDFに変換するだけなので「合法」だそうです。普及すれば横やりが入りそう。まあでもこういうサービスは印刷会社がどんどん取り組むべきものでしょう。

◆1冊100円の書籍PDF化「BOOKSCAN」開始 [読売新聞]

<http://www.yomiuri.co.jp/net/news/internetcom/20100419-OYT8T00910.htm>

◆BOOKSCAN

<http://www.bookscan.co.jp/>

米紙シカゴ・サン・タイムズによると、印刷板新聞の寿命はあと「10年」だそうです。情報ソースの多様化とともに紙媒体の新聞も社会的役目が小さくなっていることは確か。日本の場合はすこし事情が異なるでしょうが、脱皮を求められていることは確かかもしれません。

◆印刷版新聞は余命10年 シカゴ・サン 「電子版へ変化なければ廃業」 [SankeiBiz]

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/100408/bsb1004080505010-n1.htm>

コニカミノルタは、デジタル印刷機事業の売上高を現状の約25%増の1000億円に引き上げるそうです。オフセット印刷のマーケットをターゲットにしているようですが、オンデマンド機の需要はどの程度あるのでしょうか。

◆コニカミノルタ、デジタル印刷機の売上高25%増計画 [日本経済新聞]

<http://tinyurl.com/ykdogtg>

フォトブック作成ソフトがダンクセキ株式会社からリリースされています。作成ソフトといってもひな形ですが、画像をドラッグするだけでフォトブックが作成可能です。この無料のフォトブックが作成ソフト、Adobe AIRのソフトです。Adobe AIRでひな形を提供する売り方はこれからも増えていきそうです。

◆本格的なフォトブックを簡単に編集！『DANK BOOK MAKER』を配布開始 [朝日新聞]

<http://www.asahi.com/business/pressrelease/ATP201004060011.html>

PDFからiPhone、iPad用の電子書籍アプリを作成するサービスが株式会社ポルタルトから登場しました。PDFを編集して電子書籍をWeb上で簡単に作成できます。システム利用料が月10,500円で、AppStoreの登録料とは別に売り上げの10%が差し引かれます。APPアプリの入門コースとしては使いやすそうです。

◆ポルタルト、超カンタンなiPhone/iPad向け電子書籍アプリ制作サービス「moviliboSTUDIO」を発表 [電子書籍検索サイト「hon.jp」]

<http://hon.jp/news/modules/rsnavi/showarticle.php?id=1500>

[DTP コンテンツワークフローマンスリー] Vol.001 May .2010

発行 2010年5月17日

編集人 上高地 仁 (文責)

発行人 田中 清

発行所 有限会社 インクナブラ

〒579-8024 大阪府東大阪市南荘町 8-29-901 号

TEL:072-974-5272 FAX:072-951-7385

©2010 by Jin Kamikochi

本書の内容の一部もしくは全部を著作権法の定める範囲を超え、有限会社インクナブラおよび著者に無断で複製、複写、転載することはご遠慮下さい。無記名記事の文責はすべて上高地仁にあります。

本書の内容に関するお問い合わせもしくは質問は、Eメール (incun@incunabula.co.jp) もしくは文書で、小社までお問い合わせください。

[DTP コンテンツワークフローマンスリー] はインクナブラ発行の月刊情報誌です。DTP-S や DTP-S ブログに掲載された記事を中心に月刊でPDFとして編集し、DTP-S 倶楽部、DTP コンテンツワークフロー研究会の会員に配布しています。会員外にもPDF版を配布していますが、一般に公開している [DTP コンテンツワークフローマンスリー] はプリントアウトに制限がかかっています。プリント制限のないPDF版はDTP-S 倶楽部、DTP コンテンツワークフロー研究会にご入会いただくとダウンロードできます。